

科目	福祉カウンセリング(福)(臨)	単位数	2
担当教員	袴田 俊一		
履修対象	社会福祉学科3年秋学期		
目的	ソーシャルワークにおける面接を中心に、面接を効果的に進めるための心理学的援助手段に関するテーマを取り上げます。		
達成目標	「知識・技能」 (1)ソーシャルワークにおける面接技法について説明できる。 「思考力・判断力・表現力」 (1)本講義で得た面接技法をソーシャルワーク援助・支援活動に活かすことができる。		
授業計画			
1	オリエンテーション：福祉カウンセリングとは？		
2	一般性(共通性)と個別性(独自性) 客観的事実と主観的現実		
3	アセスメントとインターベンション		
4	カウンセリングとケースワーク面接		
5	カウンセリングと心理療法(サイコセラピー)		
6	自己覚知とパーソナリティ		
7	子ども領域における福祉カウンセリング 虐待の問題を中心に		
8	危機介入：生活場面面接と5W1Hの活用		
9	高齢者領域における福祉カウンセリング 回想法やリアリティ・オリエンテーションを中心に		
10	障害受容 ADLからQOLへ		
11	身体障害者領域における福祉カウンセリング ピアカウンセリングを中心に		
12	総合病院における福祉カウンセリング 医療とソーシャルワーク		
13	精神障害者領域における福祉カウンセリング SSTを中心に		
14	多職種間の連携 コンサルテーション・リエゾン		
15	まとめ		
授業形態	講義形式を中心とする。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
福祉カウンセリング	杉本敏夫監修・袴田俊一編	久美出版	2,400円+税
参考書	・久保紘章(ひろあき)『ソーシャルワーク利用者へのまなざし』相川書房 ・杉本敏夫(訳)『ソーシャルワークとは何か』晃洋書房 ・バイスティック『ケースワークの原則』誠信書房 ・土居健郎『方法としての面接-臨床家のために-』医学書院 ・土居健郎『甘えの構造』弘文堂		
成績評価の基準・方法	基準 ①毎回の講義・発表内容を理解し、②実践に結びつけることが出来れば合格 方法 授業中に実施する理解力確認テスト		
留意点	毎回の課題に対して積極的に取り組んでいただきたい。		
準備学習	1回目オリエンテーション時に示した課題図書を熟読していただくこと(2時間程度)		
備考	各回の課題に対して、次週フィードバックを行う。	No.	SW621010